

ビジネスの視点からみた 実務家が押さえておくべき 商標法のポイントと対応策

難易度
中級

～ブランド構築を狙った改正商標法・意匠法を踏まえて～

講師	青木 博通 氏	ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士	
日時	2026年4月21日(火) 13:30~16:30		

- ◆商標の実務家が押さえておくべき商標法のポイントを、商標のネーミングから商標の管理まで解説します。
- ◆具体的には、商標の種類とネーミング、ビジネスにあった商品・役務の選択、商標の識別性・類似・混同、商標調査の際の注意点、商標出願の際の注意点、最近の拒絶理由の動向、どのように商標を管理していくか、解説します。
- ◆また、ブランド構築を狙った改正商標法・意匠法により、商標及び意匠の保護範囲が拡張され、オーバーラップが生じています。商標と意匠の侵害判断基準の違いなども解説しながら、両制度をどのように活用したら良いかについても解説します。
- ◆コンセント、AI、メタバース、商標とブランドの関係といった最新の話題にも言及します。
- ◆ポイントをしぼったパワーポイントによる軽いタッチの解説で、重要項目が、ぐんぐん頭に入る講座となっております。是非ご参加いただきますようお願いいたします。

【解説内容（予定）】

1. 改正商標法、改正意匠法の目的（ブランド構築）
2. 商標制度の考え方の基本（著名商標の保護は厚く）
3. 裁判例からみた問題のあるネーミング
4. 商標のヒエラルキー
 - (1) 強い商標と弱い商標
 - (2) ハウスマークとプロダクトマーク
5. 商標の種類と選択（文字から音・色彩・内装まで）
企業の色の保護等
6. 商標の使用されるマーケット（リアル、インターネット、メタバース）
7. 商品・役務の種類と選択（リアル、インターネット、メタバース）
8. ビジネスの流れと商標保護のタイミング
9. 商標調査の際の注意点
10. 商標の識別性、類似、混同
11. 商標出願の際の注意点
指定商品を限定しすぎた事例等
12. 意外な拒絶理由（最近の動向）
13. 商標は管理が重要
 - (1) 不使用取消審判対策
 - (2) 不正使用取消審判対策
 - (3) 普通名称化防止
 - (4) 感動を与える商標の復活劇
 - (5) 雉も鳴かずば撃たれまい
14. 商標なのか？意匠なのか？
15. 商標権の侵害と対応策
著作権表示と商標権侵害
商標の剥離抹消・変更は侵害か（各国比較）等
16. 立体商標と意匠の侵害判断の違い
17. 商標制度を補完する制度（知財ミックスの成功例）
18. コンセント制度の留意点
19. AIと商標
20. ブランドと商標の関係

テキストはPDFで共有させていただきます

◇この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。この研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として2.5単位が認められる予定です。（※zoomにてご参加下さい。アーカイブ視聴は単位認定対象外です。）



ライブ配信だからその場で講師に質問可能 &
アーカイブ配信も実施（各講義翌日から1週間）
・聞き逃しても安心！期間内はなんどでも。
・再生速度を変更可能！

受講料	会員12,750円 一般15,000円（※税込）	
申込	「発明推進協会 研修」で検索 http://www.jiii.or.jp/kenshu/chizaikeishu_tanki.html	
お問合せ先	(一社)発明推進協会 研修チーム TEL 03 3502 5439	